



文台



硯箱

### 35 菊花蒔絵文台・硯箱

船橋舟珉 一具 大正11年(1922)

木製漆塗、蒔絵

(文台) 36.8×64.3×12.4

(硯箱) 25.0×23.0×5.5

貞明皇后より雍仁親王に贈られた品。伝統的な文具を母君の皇后より東宮や皇子の立太子、成年式の際に贈られることは慣わしとなっていたようで、皇太子(昭和天皇)の成年式の折にも贈られている(図版番号27)。

<展示 第2期-19>

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝いわい美のび——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections